

Ⅱ 到達目標

当社の企業としての最上位方針は、「企業理念」です。

その第一項で「私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます」と示しているとおおり、安全に関する企業としての到達目標は、「安全を最優先する企業風土の構築」に他なりません。

当社は、福知山線事故により、多くのお客様の尊い命を奪い、また、お怪我をさせてしまいました。さらに、「安全性向上計画」の推進に取り組む最中、伯備線の触車事故で3名の仲間を失いました。

このようなことから、5ヵ年の取り組みとなる本計画の到達目標は、「安全を最優先する企業風土の構築」を目指す道の中での最優先・最重要に取り組むべきものを掲げることとし、「お客様の死傷事故ゼロ、社員の重大労災ゼロへむけた体制の構築」とします。

到達目標：「お客様の死傷事故ゼロ、社員の重大労災ゼロへむけた体制の構築」

具体的には、5ヵ年の取り組みにより、以下のような状態を目指します。

- 1 お客様の死傷事故、社員の重大労災につながる可能性のあると考えられるリスクが洗い出され、それぞれのリスクの重大性についての評価結果が関係者間で共有されている状態
- 2 優先して対処すべきリスクに対して、対策を実行している状態
- 3 社員から多くの安全情報が寄せられ、リスクに対して適切な監視体制がとられている状態

鉄道事業の運営は、グループ各社とともにを行っています。したがってこの到達目標は、グループ全体で共有すべきものとします。

[解説]

1. 最優先で取り組むべきは、鉄道事業者として制御可能な分野において、目標を達成するに足る安全性向上を実現させることと認識します。
2. 「重大労災」とは、当社の業務の中で最も死亡事故につながる恐れの高い、「触車」「感電」「墜落」であり、その撲滅にむけてまず最優先で取り組みます。
3. グループ会社各社においてもこの到達目標を掲げ、取り組みます。